



第56回名古屋市障害者作品展示会ギャラリートーク

アートと福祉を越境する。障害者アートの可能性

講師 中津川浩章さん

日時 令和4年2月12日(土) 14:00~15:45 (受付13:30~)

場所 名古屋市博物館3階 ギャラリー1

定員 30名(事前予約制)※

※会場で着席可能な人数です。予約無しでも立席での聴講は可能です。

※手話通訳、UDトーク、点字資料の準備可能です。

支援の延長としての表現活動

オリジナリティ、クオリティを重視するアートと、公平性、平等性を大切にしてきた福祉は、表面的には水と油のようなが、人間が表現すること、表現とは何か、人間とは何か、共同体とは何かという深い問いかけのところで重なっていく。

言葉のアウトプットができていく障害がある人たちにとってアート活動はコミュニケーションとしての大きな価値を持つ。アートでなく表現すること。人間が人間らしく生きていくことに必要なもの。

障害の特性よりもパーソナルな部分を大切に。表現することは自分自身を救ってくれたもの。2次障害を、表現することを通じて時間をかけて軽減していく。

展覧会やワークショップを通じて障がいがある人たちと社会とのつながりを作ることの大切さ。

一般の人も幸せに暮らせるような社会をつくるため、できないことにつながる社会。

特殊性や特異性だけでなく、普通のこと、日常性の中にある垂直軸を見つけること。表現はそのもの。存在。日常性と特異なもの。

障害者の表現。

知識や教養ではない

人間が生きることから来て

体の中から湧き上がってくる表現。(抜粋)



講師プロフィール

中津川 浩章 (なかつがわ ひろあき)

アーティスト/アートディレクター 表現活動研究所ラスコー代表

1958年静岡県生まれ。作品制作および多様な分野で社会とアートをつなぐ活動をおこなう。表現活動ワークショップ、バリアフリーアートスタジオ、美術史WS、講演等で表現することの意味と大切さを伝えている。障害者のためのアートスタジオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーション、選考委員など多数務める。

「岡本太郎とアールブリュット」(川崎市岡本太郎美術館)、「about me~わたしを知って~」(ビッグ・アイ アートプロジェクト)(国際障害者交流センター)、「埼玉県障害者アート企画展」、日本財団 DIVERSITY in the ARTS 公募展、Art to you!東北障がい者芸術全国公募展、宮崎県国文祭・芸文祭障がい者アート展ほか。

NPO 法人エイブル・アート・ジャパン 理事、認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル 理事、一般社団法人 Art Inter Mix 代表、一般社団法人 Get in touch 理事